

チーム えがお



発行者:校長 岡田 達也

《学校教育目標》『自ら学び 心優しく たくましく生きる児童の育成』
 ☆「かしこく」自ら学ぶ子 ☆「やさしく」心豊かな子 ☆「たくましく」やりぬく子

～ えがお かがやき がんばる 学校 困うえんだん 「チーム北川」～

意欲満々！ 全校児童を引っばる『機関車』たち



始業式以降、6年生、5年生は下学年のよいお手本となるよう、気持ちを新たにがんばっています。特に、6年生は、最高学年としての自覚が、その言動からしっかりと伝わってきます。

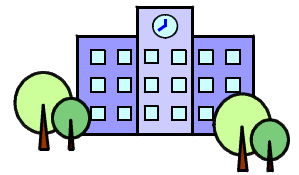
今日の朝の時間は、体育館での「さわやかタイム」でした。どの学年もとても静かに、そしてすばやく体育館に集合していました。その上、全校がそろいまでの間も、よい姿勢で静かに待つことができました。

このように、「集団」には大きな影響力があります。「集団」の雰囲気、それぞれの学年（少し小さな集団）や一人一人の子ども（個人）の言動等に影響を与えていきます。みんなが（集団が）きちんとしていると、自分たちも、自分もきちんとしなければいけないと思うようになるのです。一方、個人の振る舞いが「集団」全体の在り方を左右することもあります。このことは、「みんなは一人のために 一人はみんなのために」という意識にもつながっていきます。

最初のさわやかタイムでは、集団（全校児童）を引っばる機関車役となる児童会役員5名を紹介しました。6年生の児童会長1名、6年生の副会長1名、5年生の副会長1名、そして6年生の黒板書記1名、5年生のノート書記1名の5名が、前期を引っばってくれます。全校の前で、一人一人が自分の目指す学校の姿を堂々と発表していました。「笑顔があふれる学校」、「思いやりがある楽しい学校」、「明るく温かい学校」、「みんなが行きたくなるような学校」、「けんかがない優しい学校」と。なんとも頼もしい限りです。それを聞いていた子どもたちから、「一緒に頑張ろう！」という気持ちを込めた応援の大きな拍手が起こりました。みんなが力を合わせてもっとつながれば、きっとすばらしい北川小学校になるはずです。

【学校教育目標】 『自ら学び 心優しく たくましく生きる児童の育成』

- 【目指す子ども像】 ※ () は、集団として目指す姿です。
- ☆「かしこく」自ら学ぶ子 (学び合い)
 - ☆「やさしく」心豊かな子 (認め合い)
 - ☆「たくましく」やりぬく子 (きたえ合い)



【経営の基本方針】

学校は、児童のためにあり、児童が成長するところである。『子どもたちのための学校』をいつも基本に据え、「北川小学校で学べばすばらしい経験ができる、すばらしい力がつく」と児童の成長をきちんと実感できる学校、「当たり前のことを当たり前に行う」学校、また地域のよさを捉え「学校・家庭・地域で子どもを育てる」学校づくりを推進します。

- ◇子どもにとって「行きたい」 《学びがいのある学校》
- ◇教職員にとって「働きたい」 《働きがいのある学校》
- ◇家庭・地域にとって「行かせたい」「自慢したい」 《応援しがいのある学校》

【指導の重点】

- 自ら自分の考えをもち、友達と学び合うことを通して、基礎的・基本的な知識・技能、課題解決に必要な思考力・判断力・表現力、自ら学習に取り組む態度の育成に努める。
- 道徳教育や同学年や異学年、地域住民との関わり合いの充実を図り、優しく相手を思いやる心や自尊感情、規範意識、正しく判断し自ら行動する態度の育成に努める。
- 体力の向上や心身の健康、食育、安全指導等を通して自分の生活を振り返り、健康で安全な生活を自ら考え実践する態度の育成に努める。
- 地域との密接な連携により、教科や総合的な学習の時間等において、地域人材・教材を活用した授業づくりを工夫し、地域に根ざした特色ある学校づくりの推進に努める。